

平成27年度第2回箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会

議事要旨

日時 平成27年(2015年)9月10日 15:00～16:40

会場 特別会議室(箕面市役所本館2階)

出席 【構成員】※敬称略

松出 末生(箕面商工会議所・座長)

笹川 実千代(大阪青山大学・副座長)

後藤 繁一((株)池田泉州銀行)

須貝 昭子(NPO法人市民活動フォーラムみのお)

藤井 栄治(箕面FMまちそだて(株))

広瀬 幸平(箕面市地域創造部)

【事務局】

箕面市地域創造部箕面営業室

株式会社三菱総合研究所

【傍聴者】

2名

資料 次第

資料1 第2回推進検討会資料

参考資料 箕面市人口ビジョン(案)

議事要旨

1. 構成員の紹介

構成員として、吉田寿樹氏(自治労大阪府本部)が参画。本日は欠席。

2. 箕面市人口ビジョン

事務局より、資料1[1_箕面市人口ビジョン]を説明し、意見交換を行った。

主な意見は以下のとおり。

- 「国立社会保障・人口問題研究所推計に準拠」とあるが、具体的に、国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)が公表している数値とどう違うのか、共有しておきたい(構成員)

⇒2010年国勢調査を基準人口としている社人研の推計では、既に2015年推計値と箕面市実績で乖離が生じているため、2015年の住民基本台帳に基づく人口で補正をしている。また、住民基本台帳に基づく人口と国勢調査の人口に差異があることは把握しているが、差異の大きさを正確に把握することは困難なため、補正はしていない。(事務局)

- 出生率の向上、北急延伸による定住人口の増加、広域連携という要因が人口推計に反映されてもよいのではないか。(構成員)

⇒本日提示した人口推計はこれまでの取り組み施策の効果のみで推計している。

広域連携は想定していなかったが、出生率の向上、北急延伸による効果は、次回までに提示する将来展望の中で反映する。(事務局)

- 将来展望としての人口についてはどのように考えているのか。(構成員)

⇒15万2千人程度が人口キャパシティの上限と考えており、その間の数字になる見込み。(事務局)

- 学生や介護施設入居者のような住民票を移していない人口を考慮しているのか。(構成員)

⇒2010年の国勢調査結果を使って補正することも可能だろうが、正確に反映できないため、今回の推計上、考慮していない。(事務局)

3. 箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略

事務局より、資料1 [2_箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略] を説明し、意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- 基本目標にある「林業」はやはり含めるのか。(構成員)

⇒国の施策として、今後林業が出てくる可能性がある。難しいとは思っているがキーワードとして入れておきたい。(事務局)

⇒能勢町や豊能町などの近隣地域では林業に動きがあるので、広域連携としてはどうか。(構成員)

- 目標Ⅲの子育て・教育について、保幼小連携を入れたり、地域コミュニティ色をもっと出すとよいのではないか。(構成員)

- 北急延伸に関連して今後どのようなまちづくりを考えているのか。(構成員)

⇒北大阪のまちづくりについて、大阪府が主催で、府、吹田市、豊中市、箕面市が情報共有する場を設けている。各市各地区で特色あるまちづくりを進め、北大阪全体を高質な街にできないかと考えている。(事務局)

- 目標Ⅰ施策の方向性(1)は船場地域に限っているが、バイオは彩都も関連するため、限定しない方がよいのではないか。(構成員)

⇒大阪大学のベンチャーキャピタルの話を念頭に置いていたが、特に限定する必要はないので広くする。(事務局)

- 目標Ⅰの施策例にある起業創業支援の内容について、「資金や場所という資源が上手く結びつくようにする」「既存企業が業務拡大する際の支援を含める」「SOHO設立を支援する」ということを検討してはどうか。(構成員)

⇒次回までに具体的な施策例を入れて、ほぼ最終版としたい。(事務局)

- 基本目標の数値目標だけでは施策全体を網羅できないのではないか。(構成員)
 - ⇒総合計画の数値目標やこどもプランの数値目標などを入れていく。これは基本目標に対する数値であり、さらに施策ごとに KPI を設定することになる。(事務局)

以 上